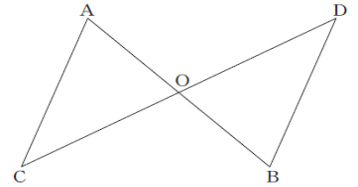


【④ - 2 - 2 証明の進め方】

氏名

- 1 右の図のように、線分ABと線分CDがそれぞれの中点Oで交わっているとき、次のことがらが成り立ちます。
 ことがら「 $AO=BO$ 、 $CO=DO$ ならば $AC=BD$ である。」
 太郎さんは、ことがらを証明しようとしています。



- (1) ことがらの中で、仮定にあたる部分をすべて書きなさい。
- (2) 太郎さんは、ことがらの中の仮定に加えて、もう1つ等しいといえる関係「 $\angle AOC = \angle BOD$ 」を見つけました。このことが成り立つ根拠として最も適切なものを、下のア～エの中から1つ選びなさい。
- ア 平行線の同位角は等しいから イ 平行線の錯角は等しいから
 ウ 対頂角は等しいから エ 三角形の内角の和は 180° だから

- (3) 太郎さんは、ことがらの仮定と、(2)で見つけた等しい関係「 $\angle AOC = \angle BOD$ 」から、三角形の合同条件を使って「 $\triangle AOC \equiv \triangle BOD$ 」を示し、ことがらを証明しました。

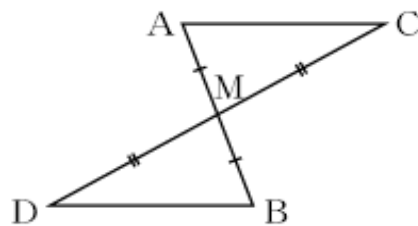
さらに太郎さんは、ことがらの証明を振り返り、「 $AC=BD$ 」以外にも、角の大きさの関係について証明できることを見つけました。太郎さんが見つけたと考えられることの中から1つを、記号を使ってかきなさい。

(1)	
(2)	
(3)	

2 みきさんは、次の問題を考えています。

右の図のように、線分ABと線分CDがそれぞれの midpoint M で交わっています。

このとき、 $AC \parallel DB$ となることを証明しなさい。



みきさんは、下のような**証明の方針**を考えました。この**証明の方針**にもとづいて、 $AC \parallel DB$ となることを下のように証明しました。**証明の方針**の**ア**～**エ**に当てはまる角や三角形をかきなさい。

証明の方針

- 1 $AC \parallel DB$ を証明するためには、 $\angle(\text{ア}) = \angle(\text{イ})$ (錯角が等しい) を示せばよい。
- 2 $\angle(\text{ア}) = \angle(\text{イ})$ を示すためには、 $\triangle(\text{ウ}) \equiv \triangle(\text{エ})$ を示せばよい。
- 3 仮定の $AM = BM$, $CM = DM$ を使うと、 $\triangle(\text{ウ}) \equiv \triangle(\text{エ})$ が示せそうだ。

【証明】 $\triangle AMC$ と $\triangle BMD$ で、

仮定より、 $AM = BM \cdots \text{①}$

$CM = DM \cdots \text{②}$

対頂角は等しいから、

$\angle AMC = \angle BMD \cdots \text{③}$

①, ②, ③から、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので、

$\triangle AMC \equiv \triangle BMD$

合同な図形では、対応する角の大きさは等しいので、

$\angle MAC = \angle MBD$

したがって、 AC と DB の錯角が等しいから、

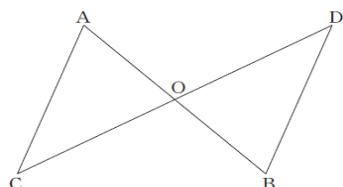
$AC \parallel DB$

ア	
イ	
ウ	
エ	

【④ - 2 - 2 証明の進め方】

氏 名	解 答
-----	-----

- 1 右の図のように、線分ABと線分CDがそれぞれの中点Oで交わっているとき、次のことがらが成り立ちます。
 ことがら「 $AO=BO$ 、 $CO=DO$ ならば $AC=BD$ である。」
 太郎さんは、ことがらを証明しようとしています。



- (1) ことがらの中で、仮定にあたる部分をすべて書きなさい。
- | |
|--|
| $○○○$ ならば、 $□□□$
仮定 結論 |
|--|

- (2) 太郎さんは、ことがらの中の仮定に加えて、もう1つ等しいといえる関係「 $\angle AOC = \angle BOD$ 」を見つけました。このことが成り立つ根拠として最も適切なものを、下のア～エの中から1つ選びなさい。

- ア 平行線の同位角は等しいから イ 平行線の錯角は等しいから
 ウ 対頂角は等しいから エ 三角形の内角の和は 180° だから

- (3) 太郎さんは、ことがらの仮定と、(2)で見つけた等しい関係「 $\angle AOC = \angle BOD$ 」から、三角形の合同条件を使って「 $\triangle AOC \equiv \triangle BOD$ 」を示し、ことがらを証明しました。

(1)	$AO=BO$ $CO=DO$
(2)	ウ
(3)	$\angle A = \angle B$ ($\angle C = \angle D$)

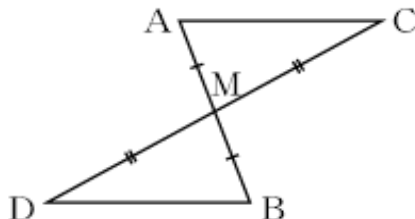
- さらに太郎さんは、ことがらの証明を振り返り、「 $AC=BD$ 」以外にも、角の大きさの関係について証明できることを見つけました。太郎さんが見つけたと考えられることの中から1つを、記号を使ってかきなさい。

証明したら終わりではなく、証明された事柄から、新しくいえることはどんなことなのか、条件を変えたらどうなるのか、などと考えることが大切です。

2 みきさんは、次の問題を考えています。

右の図のように、線分ABと線分CDが
それぞれの中点Mで交わっています。

このとき、 $AC \parallel DB$ となることを証明しなさい。



みきさんは、下のような**証明の方針**を考えました。この**証明の方針**にもとづいて、 $AC \parallel DB$ となることを下のように証明しました。**証明の方針**の**ア**～**エ**に当てはまる角や三角形をかきなさい。

証明の方針

- 1 $AC \parallel DB$ を証明するためには、 $\angle(\text{ア}) = \angle(\text{イ})$ (錯角が等しい)を示せばよい。
- 2 $\angle(\text{ア}) = \angle(\text{イ})$ を示すためには、 $\triangle(\text{ウ}) \equiv \triangle(\text{エ})$ を示せばよい。
- 3 仮定の $AM = BM$, $CM = DM$ を使うと、 $\triangle(\text{ウ}) \equiv \triangle(\text{エ})$ が示せそうだ。

【証明】 $\triangle AMC$ と $\triangle BMD$ で、

仮定より、 $AM = BM \cdots \text{①}$

$CM = DM \cdots \text{②}$

対頂角は等しいから、

$\angle AMC = \angle BMD \cdots \text{③}$

①, ②, ③から、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので、

$\triangle AMC \equiv \triangle BMD$

合同な図形では、対応する角の大きさは等しいので、

$\angle MAC = \angle MBD$

したがって、 AC と DB の錯角が等しいから、
 $AC \parallel DB$

ア	$\angle MAC$ ($\angle ACM$)
イ	$\angle MBD$ ($\angle BDM$)
ウ	$\triangle AMC$
エ	$\triangle BMD$

2つの直線が平行であることを証明したいときには、根拠として「錯角が等しい」や「同位角が等しい」を使えます。

証明したい事柄(結論)を示すためにはどんなことが示せればいいのか。それを示すためには、さらにどんなことがいえればいいのか、と結論からさかのぼるように逆に考えていくことも、証明を考える大切な方法になります。